

4

株式会社テクノコンサルタント

～令和7年1月24日(金)訪問～ 【大分市】



株式会社テクノコンサルタントは、昭和55年に道路・河川など土木関係全般における測量・調査・設計を行う総合建設コンサルタントとして創業されました。近年では、ドローンを用いたトンネルや橋梁等の構造物の点検・診断事業にも注力され、令和2年にはドローン等の製造・組立や非破壊検査の試験等を行う「西日本ロボット・ドローンセンター」を大分流通業務団地に建設しています。また、大分県ドローン協議会の測量・点検・調査分科会長として県内外で研修講師を務められているほか、ドローン事業者とユーザーをマッチングする事業にも参加しています。

懇談では、自社で開発した非破壊検査装置やトンネル点検システム、高機動型水中ドローン等のほか、災害時に活躍する衛星通信「スターリンク」を活用した情報共有システムなどについてご説明をいただきました。皆さんからは、開発した先端技術を用いた装置やシステムの様々な場面での積極的な活用や、ドローン事業のビジネス化への支援など、先端技術産業の一層の振興についてご要望をいただきました。

道路やトンネル等インフラ施設の老朽化や災害時への対応において、先端技術は非常に有用なツールであるため、県としてもしっかり活用していきたいとお伝えしました。

懇談風景



関連分野における県の施策(令和7年度)

☆事業名:ドローン産業振興事業

事業概要:ドローンの社会実装や研究開発等の取組を支援

予算額:4,504万円(補助金 補助率2/3、限度額500万円)

☆事業名:建設産業DX加速化事業

事業概要:【特】ICT建機等の導入に取り組む事業者への助成など

予算額:3,929万円

※【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」

【大分県ドローン協議会】

ドローン産業は、さまざまな分野で用途が拡大し、事業化・ビジネスモデル化が進んでおり、大分でも、ドローンスクールや販売事業者、農薬散布や土木測量などのユーザー事業者、特殊空撮事業者など、ドローン産業への参入が活発化しています。

このため、大分県では、ドローン産業の振興・集積を目指し、平成29年6月に「大分県ドローン協議会」を設立しました。令和7年3月現在、幅広い分野から225の企業・団体に参加いただき、新たな事業展開に取り組んでいます。